

ここが聞きたい!

一般質問

令和6年東峰村議会第7回(12月)定例会

質問順	議員名	質問事項(色付きは記載事項)	ページ
1	ひぐち あきら 樋口 朗	公営住宅の整備計画について 空家対策について 空き家バンク・各種相談について ホームページの入札情報について	P9
2	かじわら はくお 梶原 伯夫	東峰村交通体系について 秋祭りの中止について 小石原上原地区の内浦川について	P9
3	たかはし ひろのぶ 高橋 弘展	相次ぐ税の処理誤りについて スマート農業についてと担い手について 村長選挙及び村議会議員選挙について ふるさと納税の返礼品について	P10
4	たかくら みきえ 高倉 美紀恵	西鉄バスの減便伴う対応について 東峰村の広報活動について 東峰村の文化財の管理について	P10
5	わだ まさゆき 和田 将幸	地域交通のるーとについて 岩屋駅周辺整備事業について 村道・林道の管理について	P11
6	くろかわ たかやす 黒川 隆康	空き家対策について 旧宝珠山小学校グラウンドの活用について	P11
7	ささき たかし 佐々木 孝	DX推進の取り組みについて 宿泊施設の活用と今後の住宅計画について 災害等で出た土砂の集積場について	P12

一般質問の詳細は
議事録をチェック!!



樋口 朗 議員

今後10年間で20戸の公営住宅建設は、十分に
——村長 財政的に、20戸の計画にした

議員 公営住宅の計画では、令和5年度から10年間で20戸の建設を予定。老朽化のため、新たな入居を断っている団地が複数ある。人口減少のペースを少しでも緩かにし、複式学級解消のためにも、20戸の建設は十分とは思えないが、村長の考えは。

村長 住宅整備はコストもかかるので20戸の計画にしている。建設中の単身者用住宅へ希望する地域おこし協力隊員は移っていた。隊員が住んでいた家(空き家)を改修・賃貸・売却など、様々な方法で移住政策を行う。

議員 今後10年間で、建設後50年を超える公営住宅が19戸もあり、解体時期を迎える。新たに20戸建設しても住宅は増えず、十分とは



建設中の単身者用住宅(小松団地)

思えないが、村長の考えは。

村長 財政等の関係もあり、20戸の計画にしている。今後、初期投資を少なくできる民間活力導入の可能性を検討していきたい。



梶原 伯夫 議員

4月からの交通体制変更の説明が遅いのは
——村長 協議会で決定後、早く告知する

議員 令和7年4月から杷木までの西鉄バス運行がなくなるが、その後の交通体制は。

村長 体制については、12月25日開催の地域公共交通活性化協議会で、確認決定し、ホームページやチラシ等で住民に公表する。現状より不便にならないように交通体制を継続する。

議員 村民に「のるーと」の利用促進はできないか。

村長 利用促進の呼びかけはできる。負担を極力考慮したうえで、定期券等での利用促進を行うっていく。

議員 現在杷木便の土日祝の運行がないが、どうなるのか。

村長 4月以降は観光としての利用促進も考慮し、杷木便の土日祝の運行は協議会に諮りたい。



のるーと 停留所

議員 現在杷木便は、岩屋方面まで行かないが、今後どうなるのか。

ふるさと推進課長 日中の便等はやり方を検討し調整するが、最終的には協議会で決める。

議員 大手の西鉄バスでも運転手不足等で撤退することから、村内の小さな事業者で人材確保等、運営は大丈夫か。

村長 いろいろな形で協議、対応をしていく。